



平成 28 年 2 月 26 日
海 上 保 安 庁

「VDES 開発のための IALA ワークショップ」の開催結果について ～次世代海上通信の実現に向けて～

海上保安庁は、次世代 AIS^{※1}である VDES^{※2}について、その国際標準化を図ることを目的とした国際会議を今月 15 日から 19 日まで開催しました。この会議の成果により、海上通信の更なる高速化・多機能化が期待されます。

※1 AIS（船舶自動識別装置）

※2 VDES（VHF Data Exchange System の略。インターネットにおける標準の通信方式である IP を用いる等の特徴を有している。）

この会議では、VDES の性能基準に関して IMO^{※3}へ提案する文書の案が合意されました。今後、IALA^{※4}における意思決定を経て、本年秋に開催予定である IMO の MSC^{※5}97 に提出され、平成 31 年の採択を目指すこととなります。

※3 IMO（国際海事機関）

※4 IALA（国際航路標識協会）

※5 MSC（海上安全委員会）

また、ITU^{※6}へ提案される技術要件の案等についても合意されたほか、VDES の開発を促進するため、IALA はメーカーと協調して基準を整備すること等がまとめられました。

※6 ITU（国際電気通信連合）

参考

(1) オープンフォーラム参加者数

143 人

(2) ワークショップ参加者数

63 人（22 の国と機関から参加）



今津隼馬名誉教授による基調講演



当庁職員による議論の様子